

公益財団法人 中谷財団

2024(令和 6)年度 事業報告書

はじめに

中谷財団は、神戸に本拠を置く臨床検査機器・試薬メーカーであるシスメックス株式会社の創業者故中谷太郎により 1984 年「中谷電子計測技術振興財団」として設立されました。その意思を継いだ子息の故中谷正の遺贈を受け、2012 年に大きな事業が行える財団へと生まれ変わり、同年には公益財団法人に移行し、「中谷医工計測技術振興財団」となりました。それ以来、医工計測分野の広範な発展を願い、先導的な技術開発への助成を中核として技術開発に顕著な業績をあげた研究者への表彰や技術開発に関する交流への助成等の事業を行ってきました。

2014 年以降は、若手人材育成のため、大学院生向け奨学金や大学生の短期留学サポート、さらにすそ野拡大のため、小中高校生を対象とした科学教育振興など、幅広い層への支援を実現しています。このように研究者から小中高校生まで、トータルに事業展開をする国内有数のユニークな財団となっています。

2024 年度は設立 40 周年を迎え、対象分野を BME(Bio Medical Engineering)分野に広げるとともに、新たな表彰事業「神戸賞」を創設しました。また、同年 11 月 1 日に名称を「公益財団法人 中谷財団」と改称し、新たな一步を踏みだしました。6 月には設立 40 周年記念式典と第 1 回神戸賞授賞式を神戸にて開催いたしました。事業活動は順調に進捗しており、詳細を以下に記します。

I. 表彰事業

I-1. 神戸賞

神戸賞は財団設立 40 周年を記念し新たな学術賞として創設しました。大賞は、BME 分野において、独創的な発想に基づいたイノベーティブな研究成果を上げ、現在も活発な研究活動をおこなっている研究者又は研究グループを顕彰します。Young Investigator (Y.I.) 賞は、BME 分野において独創的な研究を実施しており、その将来が囑望される若手研究者であり、当該年度末において 45 歳未満である研究者を顕彰します。

2024 年度は、第 1 回神戸賞の授賞式を開催しました。また、第 2 回神戸賞の公募を行い、審査委員会の審査を経て、授賞者を決定しました。

I-1-1. 第 1 回神戸賞

第 1 回神戸賞授賞式を開催しました。

日時 2024 年 6 月 1 日 (土) 14 時～

場所 神戸ポートピアホテル (兵庫)

I-1-2. 第 2 回神戸賞

1. 募 集

【募集期間、方法】

募集期間

6 月 1 日～7 月 31 日

募集案内送付 約 400 件
告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】

大賞 新規 6 件＋キャリアオーバー32 件
Y.I.賞 新規 17 件＋キャリアオーバー51 件

2. 審 査

財団内に設置した神戸賞審査委員会(審査委員 13 名、顧問 1 名で構成)により、応募のあった研究テーマに対して公正にして厳正なる審査を実施しました。

大賞

一次審査 8 月 20 日～9 月 19 日 書面審査
エキスパートオピニオン収集 10 月 1 日～11 月 14 日
二次審査 11 月 15 日～12 月 7 日 書面審査
オンラインヒアリング審査・最終審査 12 月 14 日

Y.I.賞

一次審査 8 月 20 日～9 月 19 日 書面審査
二次審査 10 月 10 日～11 月 15 日 書面審査
Y.I.賞選考シンポジウム・最終審査 1 月 26 日

3. 承 認

最終承認 2 月 28 日の理事会にて承認されました。

4. 授賞式

2025 年 5 月 25 日神戸ポートピアホテルにおいて、第 2 回神戸賞授賞式を開催予定です。

第2回神戸賞 受賞者

大賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研究題目	表彰金額
菅 裕明	東京大学大学院理学系 研究科・教授	特殊ペプチド創薬の開拓とイ ノベーション	5,000

計 1件 5,000 万円

Y.I.賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研究題目	表彰金額
谷内江 望	The University of British Columbia,Biomedical Engineering, Professor / Director of Research 大阪大学 ヒューマン・メタバ ース疾患研究拠点・特任教授 東京大学先端科学技術研究セ ンター・客員教授	DNA イベントレコーディング技術 の開発	賞金 500 助成金 5 年間で 4,000 万 円

村川 泰裕	京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点・教授 理化学研究所生命医科学研究センター・チームディレクター	ヒト疾患の分子機序を明らかにするためのエンハンサーマップの高精細構築と独自技術開発	同上
神谷 真子	東京科学大学総合研究院化学生命科学研究所・教授	生命科学を切り拓く革新的バイオイメージングプローブの開発	同上

計 3 件 13,500 万円

I-2. 中谷賞

中谷賞は、医工計測技術および関連分野における技術開発の飛躍的な発展を期し、顕著な業績をあげた研究者の功績を讃えることを目的としたものです。

2024 年度は、第 17 回中谷賞の公募を行い、審査委員会の審査を経て、授賞者を決定しました。

1. 募 集

【募集期間、方法】

募集期間 7 月 1 日～9 月 15 日
募集案内送付 約 400 件
告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】（ ）内は昨年度

大賞、奨励賞 18 件（19 件）

2. 審 査

財団内に設置した中谷賞審査委員会(梶谷委員長、他 10 名で構成)により、応募のあった研究テーマに対して公正にして厳正なる審査を実施しました。

一次審査 10 月 16 日～11 月 11 日 書面審査
最終審査 11 月 30 日 審査委員会にて最終審査

3. 承 認

最終承認 12 月 6 日の理事会にて承認されました

4. 授賞式

2 月 28 日、マンダリンオリエンタル東京において、第 17 回中谷賞(大賞、奨励賞)の表彰と賞金の授与を行いました。

第 17 回中谷賞 受賞者

大賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研 究 題 目	表彰金額
瀬藤 光利	浜松医科大学 細胞分子解剖学 講座 教授	質量顕微鏡法の開発と応用 展開	1,000

計 1件 1,000 万円

奨励賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研 究 題 目	表彰金額
佐藤 和秀	名古屋大学 大学院医学系研究 科 特任講師	近赤外光応答性細胞死誘導 プローブの作用機構解明と機 序に基づく効果計測への光医 療応用開拓	300
新宅 博文	京都大学 医生物学研究所 生 命システム研究部門 教授	ナノ・マイクロ工学による 1 細 胞オミクスの拡張と展開	300

計 2件 600 万円

II. 研究助成事業

研究助成事業は、当財団の中核事業であり、本年度もこの事業に力点を置いて実施いたしました。研究助成の種類としては「長期大型研究助成」、「特別研究助成」、「開発研究助成」、「奨励研究助成」、「調査研究助成」の 5 種類があります。それぞれに、ユニークな特徴を持っており、研究者の各種要望に応えられるようになっております。

2024 年度は公募を行い、審査委員会の審査を経て、助成対象者を決定しました。なお、「長期大型研究助成」は隔年募集としたため、2024 年度は募集をおこないませんでした。

1. 募 集

BME 分野の研究範囲は極めて広汎な分野にわたりますが、生命科学と理工学の融合境界領域にあり、学際的研究分野としての社会的ニーズも高まっております。

BME 分野を対象研究課題として、大学およびこれに準ずる研究機関に対して助成対象研究テーマの募集を行いました。前年度と同様、文書送付により募集案内を行ったほか、当財団のホームページに募集案内を掲載するとともに各種メディアに掲載されるよう活発に活動を行い、広範な研究者に募集内容が周知されるよう努めました。

【募集期間、方法】

< 研究助成 >

募集期間

6 月 1 日～7 月 10 日

募集案内送付

約 400 件

告知

財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】（ ）内は昨年度

特別研究助成	13 件（18 件）
開発研究助成	149 件（125 件）
奨励研究助成	120 件（77 件）
調査研究助成	13 件（10 件）

2. 審 査

財団内に設置した研究助成審査委員会(梶谷委員長、他 10 名で構成)により、各大学等から応募のあった研究テーマに対して、公正にして厳正なる審査を実施しました。

特別研究助成

一次審査	8 月 20 日～10 月 10 日 書面審査
二次審査	11 月 16 日 面接審査
最終審査	11 月 30 日 審査委員会にて最終審査

開発研究助成

一次審査	8 月 20 日～9 月 20 日 書面審査
二次審査	10 月 16 日～11 月 11 日 書面審査
最終審査	11 月 30 日 審査委員会にて最終審査

奨励研究助成

一次審査	8 月 20 日～9 月 20 日 書面審査
二次審査	10 月 16 日～11 月 11 日 書面審査
最終審査	11 月 30 日 審査委員会にて最終審査

調査研究助成

一次審査	8 月 20 日～9 月 20 日 書面審査
最終審査	11 月 30 日 審査委員会にて最終審査

3. 承 認

最終承認 12 月 6 日の理事会にて承認されました

4. 贈呈式

3 月 1 日、赤坂インターシティカンファレンス(東京)において、助成対象者に助成金の贈呈を行いました。

研究助成 新規採択実績

	今年度		(参考)昨年度	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
長期大型研究助成	0 件	0 円	1 件	30,000 万円
特別研究助成	1 件	3,000 万円	2 件	6,000 万円
開発研究助成	16 件	8,000 万円	21 件	10,500 万円
奨励研究助成	29 件	11,000 万円	32 件	11,560 万円
調査研究助成	5 件	1,472 万円	4 件	1,200 万円
合計	51 件	23,472 万円	60 件	59,260 万円

※ 助成対象者は附属明細書参照

Ⅲ. 交流助成事業及び奨学金給付事業

Ⅲ－1. 交流助成事業

近年におけるナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどの発展に伴って、研究・開発を行う際に関係する学術領域は益々複雑多様化しつつあり、内外における研究者の研究・開発に関する交流を推進する重要性が増してきております。

2024 年度は、公募を行い、審査委員会の審査を経て、助成対象者を決定しました。

1. 募 集

BME 分野の発展に資する、研究者の研究・開発に関する交流に関して財団のホームページ上で広く募集を実施しました。

【募集期間、方法】

募集期間 四半期毎に募集を実施(海外派遣、日本招聘)

半期毎に募集を実施 (海外留学、日本留学)

告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

2. 審 査

財団内に設置した交流助成審査委員会(有識者7名で構成)により、応募のあった研究テーマを公正にして厳正なる審査を実施しました。

海外派遣

審査 四半期毎に書面審査を実施

日本招聘

審査 四半期毎に書面審査を実施

海外留学

審査 半期毎に書面審査、面接審査を実施

面接審査 5月10日、11月8日に実施

最終審査 5月10日、11月8日の審査委員会にて最終審査を実施

日本留学

審査 半期毎に書面審査を実施

3. 承認

海外派遣、日本招聘

四半期毎の審査委員会での審査・選考後、理事長不在のため専務理事が最終承認しました。

海外留学ならびに日本留学は定時理事会(5月16日、12月6日)にて最終承認しました。

2024年度交流助成 新規採択実績

	助成件数	助成金額
海外派遣	41	1,454 万円
日本招聘	11	462 万円
海外留学	10	12,743 万円
日本留学	0	0 円

計: 62 件 14,659 万円

※助成対象者は附属明細書参照

Ⅲ-2. 奨学金給付事業

BME 分野において博士号取得を目指す博士前期課程及び博士後期課程の大学院生に奨学金を給付し、将来 BME 分野で活躍する研究者の育成に資することを目的としています。

2024 年度は第 8 期生の公募を行い、審査委員会の審査を経て、奨学金給付対象者を決定しました。

1. 募集

奨学金給付を必要とする BME 分野の博士号取得を目指す博士前期課程及び博士後期課程の学部生・大学院生を広く募集しました。

【募集期間、方法】

募集期間 4月1日～6月10日

告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】()内は昨年度

博士前・後期課程 239 名 (99 名)

2. 審査

財団内に設置した大学院生奨学金給付審査委員会(有識者 4 名で構成)により、応募のあつ

た研究テーマに対し公正にして厳正な審査を行いました。

【審査方法】

大学院生奨学金給付

一次審査 書面審査

面接審査 9月4日

最終審査 9月4日 審査委員会にて最終審査を実施

3. 承認

最終承認 9月20日の臨時理事会にて承認されました

4. 奨学生認定証授与式

10月18日 西神オリエンタルホテルにて奨学生認定証授与式を執り行いました。

5. 新規採択実績

2024年度大学院生奨学金奨学生 第8期生 13名

・博士前期課程 6名(学部生2名を含む)

・博士後期課程 7名(医学部生2名を含む)

IV. 科学教育振興助成事業

IV-1. 国際学生交流プログラム

「Nakatani RIES プログラム」は、日本人または日本での永住権を持っている日本の大学に在籍する学部学生(以下、日本学生)及び米国学生を対象とし、夏休み等を利用したリサーチインターンシップです。大学研究室に属して最先端の研究活動に触れると同時に、研修や交流活動を通して他国の言語や文化を学ぶ機会を提供し、将来グローバルに活躍できる研究者育成を図ることを目的としています。「アドバンスプログラム」は、当該年度の Nakatani RIES プログラムを経験した中から特に優秀であった日本学生を、春休みを活用した海外の著名大学に短期リサーチインターンシップで派遣するプログラムです。将来グローバルな活躍が期待される人材を、できるだけ早く一流の研究機関の研究活動に触れさせる事で、BME 分野の新たな展開を切り拓いてもらえる人材育成を目的としています。

IV-1-1. 2025年度 Nakatani RIES*プログラム *Research & International Experiences for Students

1. 募集

Nakatani RIES に参加を希望する日本学生を広く募集しました。米国学生については、USA のジョージア工科大学ととの間で交換留学を実施する予定です。

【募集方法】

日本学生

募集依頼のメール送付 約 50 校

財団ホームページに募集要項等を掲載し、検索広告と連動

主要大学の留学支援部門を訪問、説明会を実施

プログラム修了生による学生主体での説明会を実施

米国学生

募集はジョージア工科大学 BME 部門に委託

【応募者数】（ ）内は昨年度

日本学生応募者数 130名（111名）

米国学生応募者数 82名（96名）

2. 審 査

財団内に設置した国際学生交流審査委員会(有識者 3 名で構成)の委員により、応募のあった日本学生の申請書および関連書類審査ならびに面接審査を実施し、公正にして厳正な審査を行いました。

【審査方法】

日本学生

面接審査 3 月 22 、23 日

最終審査 3 月 23 日 審査委員会にて最終審査

米国学生

審査はジョージア工科大学 BME 部門に委託

3. 承認

日本学生 3 月 28 日に理事長不在のため専務理事決裁の承認を受けました。

米国学生 12 月 6 日の定時理事会にて承認されました。

2025 年度 Nakatani RIES 新規採択実績

採択学生	人数
日本学生	11 名
米国学生	11 名

IV－1－2. 2024 年度アドバンスプログラム

1. 募 集

【募集資格】

応募資格 2024 年度 Nakatani RIES プログラム参加者(夏季修了者)の日本学生

【応募数】

日本学生応募者数 8名

2. 審 査

財団内に設置した国際学生交流審査委員会(有識者 3名で構成)の委員により、応募のあった申請書および関連書類、ならびに Nakatani RIES プログラムでの引受先研究室の責任教授、メンター等の評価、ならびにアドバンストプログラムの派遣先研究テーマとのマッチングを参考にして、公正にして厳正な審査を行いました。

【審査方法】

最終審査 10月5日開催の審査委員会で最終審査

3. 承 認

最終承認 10月16日の臨時理事会(決議の省略)で承認されました。

2024年度アドバンストプログラム 新規採択実績

採択学生	人数
日本学生	5名

IV－2. 科学教育振興助成

将来を担う子どもたちの論理的思考力や創造性を涵養することが、科学技術の発達はもとより我が国の発展に資するものと考え、小学・中学・高校における科学教育振興を目的とした取り組みを支援する科学教育振興助成「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」を実施してきました。加えて、2022年度より理系に優れた資質をもつ中学生に対して大学・高専が主導・実施する、科学的リテラシーを高める教育プログラム「次世代理系人材育成プログラム助成」を追加しました。2024年度は、上記4プログラムの公募を行い、審査委員会の審査を経て、助成対象機関を決定しました。

IV-2-1. 2024 年度の採択実績

種 類	助成件数	助成金額
個別校助成	73件	2,163万円
複数校連携助成(1年目)	15件	1,430万円
複数校連携助成(2年目)	17件	1,700万円
教員支援助成(1年目)	8件	763万円
教員支援助成(2年目)	9件	757万円
教員支援助成(3年目)	3件	300万円
小計	125件	7,112万円※
次世代系人材育成プログラム助成(2024 年度採択機関)	4件	2,000万円
次世代系人材育成プログラム助成(2023 年度採択機関)	4件	2,000万円
合計	133件	11,112万円

※万円単位で四捨五入しているため、小計と合致しません。

1. 成果発表会

令和6年度助成機関の成果発表会を下記のとおり開催しました。

特別講演、ポスター発表に加え、昨年に続き希望校 24 校による口頭発表をおこなったほか、国際学生交流プログラムで欧米大ラボにて研究体験をした大学生との交流の場を設けました。

日時 : 2024 年 12 月 21 日(土) 14 時 00 分～18 時 30 分
12 月 22 日(日) 10 時 00 分～16 時 00 分

会場 : 東京工科大学 蒲田キャンパス

特別講演 : 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長・教授 柳沢正史 氏

参加校 : 21 日(口頭発表・交流会) 89 校 322 人
22 日(特別講演・ポスター発表) 127 校 539 人

IV-2-2. 2025 年度の助成対象機関の決定

1. 募 集

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」については都道府県および政令指定都市の教育委員会に対して、「次世代系人材育成プログラム助成」については全国の国公立大学および高等専門学校、都道府県教育委員会義務教育課に対して、それぞれ募集パンフレットを送付し、広く教育機関に募集内容が周知されるように努めました。また同時に当財団ホームページに募集案内を掲載するほか、学生の発表を併設するなど若手育成に注力している教育系及び科学系学会を通じてメールやパンフレットを配布、ホームページへの掲載等の協力をいただき、周知活動をおこないました。

【募集期間、方法】

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

募集期間 2024 年10月1日～11月30日

告知方法 都道府県教育委員会、政令指定都市の教育委員会(469 件)、関連学会、校長会等(148 件)、および全国の中学校高等学校(15,001 校)にパンフレット送付

財団ホームページに募集要項等を掲載

「次世代理系人材育成プログラム助成」

募集期間 2024 年10月1日～11月20日

告知方法 国公立大学、高等専門学校、都道府県教育委員会義務教育課(415 件)、関連学会(48件)にパンフレットを送付

財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】

種 類	2025 年度	(参考)2024 年度
個別校助成	125件	103件
複数校連携助成(1年目)	28件	23件
複数校連携助成(2年目)	15件	17件
教員支援助成(1年目)	9件	11件
教員支援助成(2年目)	8件	9件
教員支援助成(3年目)	8件	3件
小計	193件	166件
次世代理系人材育成プログラム助成	9件	9件
合計	202件	175件

2. 審 査

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

財団内に設置した科学教育振興助成審査委員会(有識者5名で構成)により、教育機関等から応募のあった計193件の申請テーマに対して、公正にして厳正なる審査を行い、下表の通り124件を選出しました。

「次世代理系人材育成プログラム助成」

財団内に設置した次世代理系人材育成プログラム助成審査委員会(有識者4名で構成)により、大学等から応募のあった計9件の申請テーマに対して、公正にして厳正なる審査を行い、下表の通り2件を選出しました。

また、2023 年度・2024 年度に採択した8件については視察訪問し活動状況を確認した上、次年度計画書および管理運営状況報告書の提出を求め審査委員会にて審議、いずれも取組内容及び次年度の計画に問題ないと判断し、助成継続としました。

【審査方法】

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

一次審査 2024 年 12 月 16 日～2025 年1月 29 日 書面審査を実施

最終審査 2025 年 2 月 10 日 審査委員会にて最終審査を実施

「次世代理系人材育成プログラム助成」

一次審査 2024 年11月 27 日～12 月 16 日 書面審査を実施

二次審査 2025 年1月 29 日 書面審査を通過した5件に面接審査を実施

最終審査 2025 年1月 29 日 審査委員会にて最終審査を実施

3. 承認

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

2025 年 2 月 21 日に理事長不在で代理を務める専務理事の承認を受けました。

「次世代系人材育成プログラム助成」

2025 年 1 月 31 日に理事長不在で代理を務める専務理事の承認を受けました。

2025 年度科学教育振興助成採択実績

種 類	助成件数	助成金額
個別校助成	74件	2, 200万円
複数校連携助成(1年目)	14件	1, 395万円
複数校連携助成(2年目)	15件	1, 432万円
教員支援助成(1年目)	5件	479万円
教員支援助成(2年目)	8件	725万円
教員支援助成(3年目)	8件	673万円
小計	124件	6, 904万円
次世代系人材育成プログラム助成(2025 年度採択機関)	2件	1, 000万円
次世代系人材育成プログラム助成(2024 年度採択機関)	4件	2, 000万円
次世代系人材育成プログラム助成(2023 年度採択機関)	4件	1, 950万円
小計	10件	4, 950万円
合計	134件	11, 854万円

V. BME 分野に関する情報の収集及び提供事業

BME 分野の情報について広汎な利用をはかるため、当財団の研究助成事業による成果等、財団の事業活動を取りまとめて「年報 37 号」「年報 38 号」を作成し、広く関係機関に提供しました。また当財団の発行する年報をアーカイブとしてホームページ上で公開しました。アーカイブでは各種検索機能が利用可能であり、多くの研究者に BME 分野の有益な情報をフィードバックすることを目指しています。

【発行物】

年報 37 号

発行日 2024 年 11 月発行

送付先 助成者 約 50 部、各大学図書館 約 100 部、財団関係者 約 100 部 計 270 部

年報 38 号

発行日 2025 年 3 月発行

送付先 助成者 約 50 部、各大学図書館 約 100 部、財団関係者 約 100 部 計 270 部

※年報は全て無償配布

以上

2024（令和6）年度事業報告書 附属明細書（抜粋）

目次

I．2025 年度研究助成贈呈者一覧

- ・ 長期大型研究助成
- ・ 特別研究助成
- ・ 開発研究助成
- ・ 奨励研究助成
- ・ 調査研究助成

II．2024 年度交流助成贈呈者一覧

- ・ 海外派遣
- ・ 日本招聘
- ・ 海外留学
- ・ 日本留学

I. 2025 年度研究助成贈呈者一覧

【長期大型研究助成】5年間

今年度は募集なし

【特別研究助成】2年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
石谷 太	大阪大学・教授	健康長寿を実現するための合成生物学アプローチ	3,000

小計 1件 3,000 万円

【開発研究助成】1年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
茶谷 絵理	神戸大学・教授	光圧による細胞内液滴の時空間的制御法の開発	500
西村 多喜	大阪大学・教授	膜脂質多重染色法の実現を目指した基盤技術の開発	500
吉田 敬	九州大学・教授	磁気マーカーを用いた簡易かつ迅速・高感度・高精度な免疫検査システムの開発	500
西村 健	筑波大学・教授	PD imaging system によるオルガノイド非侵襲イメージングと創薬研究	500
田川 美穂	名古屋大学・教授	高感度細胞内 SERS 検出のための核酸ナノ粒子超格子光学信号増強プローブ結晶の開発	500
相良 剛光	東京科学大学・准教授	蛍光特性の不可逆変化のみを示すロタキサン型超分子メカノフォアの開発	500
南 聡	大阪大学・特任助教	細胞老化機構に着目した慢性腎臓病の病態解明と治療応用	500
上村 和紀	国立循環器病研究センター・研究室長	くも膜下出血における脳循環コンピュータ自動制御システム開発	500
鈴木 健一	岐阜大学・教授	高速超解像・1 分子イメージングによる細胞形質膜信号伝達場の可視化解析	500
森田 梨津子	大阪大学・准教授	長期 in toto イメージングによる外胚葉器官の多様性の理解	500
安井 武史	徳島大学・教授	光コムを用いた超精密光分度器の創成と表面プラズモン共鳴バイオセンシングへの応用	500

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
滝川 正晃	東京科学大学・講師	パルスフィールドアブレーション 中の変動指数に基づく焼灼巣推定 機械学習モデルの開発	500
揚妻 正和	量子科学技術研究開発機構・主 任研究員	光学・機械学習・分子神経生理学 の融合による恐怖記憶ハブ因子の 同定と制御	500
石綿 整	量子科学技術研究開発機構・主 任研究員	ラベルフリー量子計測を用いた多 細胞イオン濃度解析法の開発	500
奥村 正樹	東北大学・准教授(PI)	細胞内相分離の可視化技術の開発	500
河原 行郎	大阪大学・教授	細胞内で2本鎖RNAの巻き方の動 態を可視化する手法の開発	500

小計 16件 8,000万円

【奨励研究助成】1年間または2年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
河野 健一	京都大学・助教	Scaffold分子を基盤とした高分子 バイオ医薬品の細胞内送達の効率 化戦略	400
内之宮 祥平	九州大学・助教	脂質生成活性の一細胞蛍光イメ ージング法の開発	400
田久 創大	量子科学技術研究開発機構・ 主任研究員	低酸素がんの可視化に向けた量子 PET 計測技術の開発	400
趙 炳郁	東京大学・助教	収縮可能な血管断面モデルを用い た血管機能の経時評価システムの 構築	400
山上 龍太	愛媛大学・特任講師	tRNAの質的な分析を可能にする 定量的 tRNA 修飾シーケンス技術 の開発	400
今任 景一	広島大学・准教授	細胞内外に生じる微小な力のリア ルタイム計測を可能にするメカノ プローブの開発	400
大石 裕晃	九州大学・助教	交差型エピゲノムによる特性変化 を標的とした転写操作法の開発	400
渡邊 千穂	広島大学・准教授	分子拡散から見る脂質膜とタンパ ク凝集体形成の相関	400
石田 洋平	九州大学・准教授	不安定タンパク質製剤の常温保 存・輸送を可能にする粘土マトリ ックス材料の開発	400

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
菅野 寛志	東北大学・助教	Muse 細胞の無標識分取に向けた 定量位相勾配イメージングフロー サイトメトリー	400
志甫谷 渉	東京大学・助教	汎用的な G 蛋白質共役受容体構造 決定法の開発	400
高井 淳	東北医科薬科大学・講師	次世代炎症イメージングマウスを 用いた慢性炎症誘発細胞の計測技 術の開発	400
高橋 泰伽	東京理科大学・嘱託助教	高分子ナノ薄膜を用いた超広範囲 神経回路の in vivo 二光子イメー ジング法の開発	400
内川 裕貴	熊本大学・特定研究員	Piezol を介した血管壁のメカノト ランスダクションが脳動脈瘤に及 ぼす影響の解明	400
辻岡 洋	大阪大学・准教授	軸索発芽パターンに基づくニュー ロンの層別化と軸索発芽分子機構 の解明	400
宗兼 将之	金沢大学・助教	体内動態・細胞内動態制御型ラジ オセラノスティクスプローブの開 発	400
鳥取 聡一郎	東北大学・助教	生体親和性の高い柔軟性を有する イオントロニックデバイスの創成	400
豊島 遼	東京大学・講師	合金ナノシートをコア材料とした 高選択ガスセンサの原理理解と高 度化	400
朱 博	東京科学大学・助教	革新的薬物放出制御を実現するス イッチ型抗体薬物複合体の創出	400
木幡 愛	東京科学大学・助教	会合型の人工膜貫通分子による細 胞内シグナル伝達	400
岡村 秀紀	東北大学・助教	核酸の高次構造形成を可逆制御で きる新規人工核酸の開発研究	400
伏見 幹史	東京大学・特任助教	単一 MRI 撮像に基づく生体組織の 電磁気特性イメージング	400
堀井 和広	岐阜大学・助教	単一音が惹起する感覚上皮帯にお ける高調波ナノ振動の観測	200
小谷 鷹哉	東京大学・助教	神経筋電気刺激装置によるうつ病 予防効果の検証ーキヌレニン分解 能に着目してー	200
大石 康博	理化学研究所・研究員	トップダウン入力に起因する幻覚 の神経機序の解明と制御	200

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
京 卓志	三重大学・助教	Hippo シグナリング活性の計測による細胞排除現象の理解	400
谷貝 知樹	名古屋大学・特任講師	量子センサーを用いた非侵襲的 MASH 診断技術基盤の確立	400
川合 智子	岡山大学・助教	医療応用に資する物理的刺激による精子の運動調節	400
塚越 かおり	東京農工大学・助教	認知症原因プロトフィブリルの迅速分析法の開発	400

小計 29 件 11,000 万円

【調査研究助成】2 年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
佐伯 千寿	大阪大学・大学院生	超音波パッチによる ALS の診断バイオマーカーの有用性の実証	300
相川 忠夫	順天堂大学・助教	心臓サルコイドーシスのイベントリスク層別化における定量的画像解析の有用性調査研究	300
高杉 純司	大阪大学・助教	卵円孔開存症関連脳梗塞の治療アルゴリズム確立を目的とした実態調査	300
中村 一文	岡山大学・教授	肥大型心筋症における心室不整脈発生の AI によるリスク層別化モデルの開発	272
和田 英夫	三重県立総合医療センター・教授	凝固波形解析による血栓ならびに出血リスクの調査・凝固波形面積の有用性の検討	300

小計 5 件 1,472 万円

Ⅱ. 2024 年度交流助成贈呈者一覧

【海外派遣】

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
吉本 昂希	京都大学大学院 生命科学研究科 高次生命科学専攻 博士後期課程 3 年	国際幹細胞学会 2024	2024 年 7 月	40

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
杉山 夏緒里	早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 次席研究員・研究院講師	国際血管生物学会議	2024 年 7 月	36
X I H E Q I	大阪大学 工学研究科 物理学系専攻応用物理コース 博士後期課程 1 年	第 28 回国際ラマン分光会議	2024 年 7 月	36
前田 修作	大阪大学 大学院基礎工学研究科 機能創成専攻生体工学領域 博士後期課程 3 年	計算および数理生物医工学に関する国際会議	2024 年 6 月	39
藤田 幸	島根大学 医学部 医学科 教授	コールドスプリングハーバーラボラトリーミーティング	2024 年 9 月	39
堂畑 茉由	東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻生命環境科学系中澤研究室 博士前期課程 2 年	欧州神経科学学会連合フォーラム 2024	2024 年 6 月	24
星野 耕平	東京理科大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 博士前期課程 1 年	第 8 回計算数理医工学国際会議 (CMBE24)	2024 年 6 月	40
豊原 涼太	北海道大学 大学院工学研究院 機械・宇宙航空工学部門 特任助教	第 7 回仙腸関節手術および関連研究に関する国際会議	2024 年 9 月	40
田久 創大	量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医科学研究所 先進核医学基盤研究部イメージング物理研究グループ研究員	第 5 回素粒子物理学と医学の進歩に関するヤギェウォシンポジウム	2024 年 6 月	40

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
赤井 大夢	長岡技術科学大学 大学院工学研究科 先端工学専攻 材料工学分野	環太平洋電気化学と固体化学国 際会議 2024	2024 年 10 月	16
石川 大洋	千葉大学 大学院融合理工学府 基幹工学専攻医工学コー ス	2024 米国電気電子学会 原子核 科学シンポジウム, 医用イメー ジング会議, 室温半導体検出器 会議	2024 年 10 月	38
河西 通	東京工業大学 生命理工学院 生命理工学系	生物学における自己組織化：フ ライブルグ・シュペーマン・マ ンゴルト 100 周年シンポジウム	2024 年 9 月	38
古賀 剛司	東京大学 大学院情報理工学系研究 科 知能機械情報学専攻	マイクロタス 2024	2024 年 10 月	27
若山 晃佑	東京農工大学 大学院工学府 機械システム工学専攻	マイクロタス 2024	2024 年 10 月	30
後藤 彩夏	東京農工大学 大学院工学府 生命工学専攻、 池袋・津川・浅野研究室	PRiME 2024	2024 年 10 月	27
渡瀬 優紀	東京理科大学 大学院工学研究科 機械工学専攻	工学力学研究所 2024	2024 年 9 月	40
Kang Han Gyu	国立研究開発法人 量子 科学技術研究開発機構 量子医科学研究所 先進 核医学基盤研究部イメー ジング物理研究グループ	2024 米国電気電子学会	2024 年 10 月	40

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
高森 翔	地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 人工細胞膜システムグループ	マイクロタス 2024	2024 年 10 月	40
権 正行	京都大学 大学院工学研究科 高分子化学専攻	2024 材料研究学会秋季大会・展示会	2024 年 11 月	40
Ma Cheng	京都大学 大学院工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻	第 28 回化学と生命科学のための 小型化システム国際会議(マイクロタス 2024)	2024 年 10 月	38
西村 太希	京都大学 大学院工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻	マイクロタス 2024	2024 年 10 月	37
森 将史	大阪大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	第 36 回国際パピローマウイルス カンファレンス	2024 年 11 月	29
桶谷 亮介	九州大学大学院理学研究院 化学部門助教	SPIE フォトニクスウエスト	2025 年 1 月	39
豆生田 葵衣	群馬大学大学院理工学府 物質生命理工学領域博士 後期課程 1 年	第 69 回生物物理学会年会	2025 年 2 月	33
南 百花	慶應義塾大学大学院理工学研究科総合デザイン工学専攻修士 1 年	微小電気機械システム学会	2025 年 1 月	27

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
宮田 大輝	慶應義塾大学大学院理工学研究科 総合デザイン工学専攻マルチディシプリナルデザイン科学専修修士2年	第38回微小電気機械システムに関する国際会議	2025年1月	27
鈴木 洋紀	千葉大学大学院融合理工学府基幹工学専攻医工学コース博士前期課程2年	国際光工学会	2025年2月	39
下条 裕	大阪公立大学 大学院医学研究科 ポスドク研究員	フォトニクス・ウェスト・バイオス	2025年1月	40
島田 佳季	電気通信大学大学院情報理工学研究科機械知能システム学専攻 菅研究室 修士2年	メムス 2025 国際学会	2025年1月	19
犬塚 悠剛	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程3年	Biophysical Society 2025 年年次総会	2025年2月	40
小川 莉奈	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻修士2年	第69回生物物理学会年会	2025年2月	40
小柴 稔輝	東京理科大学大学院創域理工学研究科経営システム工学専攻修士2年	第20回 脳血管学際的シンポジウム	2024年12月	40
高橋 健吾	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻 医用画像工学分野学生（博士課程後期3年生）	国際光工学会 医用画像会議	2025年2月	40

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
菅野 寛志	東北大学大学院医学系研究科神経外科先端治療開発学分野助教	フォトニクスウェスト	2025 年 1 月	36
山崎 葵生	東北大学大学院工学研究科電気エネルギーシステム専攻修士 2 年	2025 ジョイント会議, magnetism and magnetic materials (磁化と磁性材料) Intermag (インターマグ)	2025 年 1 月	35
高橋 麻里	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科ナノマテリアル・デバイス研究領域講師	欧州材料学会 2025 春季国際会議	2025 年 5 月	40
沖田 匡	早稲田大学大学院先進理工学研究科生命理工学専攻伊藤研究室修士 1 年	国際細胞外小胞学会年会 2025	2025 年 4 月	40
稲葉 真太郎	東京農工大学工学府生命工学専攻池袋・津川・浅野研究室博士後期課程 2 年	バイオセンサーズ 2025	2025 年 5 年	38
池貝 紅亜	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻博士前期課程 1 年	バイオセンサーズ 2025	2025 年 5 月	38
土屋 彩茜	早稲田大学人間科学学術院人間総合研究センター次席研究員	国際自閉症研究協会年次総会	2025 年 4 月	40
野崎 佳司	京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 M1	マイクロ流体の物理と科学 ゴードンリサーチカンファレンス	2025 年 5 月	35

小計 41 件 1,454 万円

【日本招聘】

申請者	所属機関・職	会議名	時期	被招聘者	助成額 (万円)
藤淵 俊王	九州大学 大学院医学研究院 保健学部門医用量子 線科学分野 教授"	日本放射線影響学会 第 67 回大会	2024 年 9 月	Anam Choirul	25
				Yoon Yongsu	15
大野 博司	理化学研究所 生命医科学研究セン ター粘膜システム研 究チーム 副センター長	第 53 回日本免疫学会学術 集会	2024 年 12 月	Jonathan Kipnis	50
相沢 智康	北海道大学 大学院先端生命科学 研究院 端融合科学 研究部門 生命分子科学分野 教授	第 63 回 NMR 討論会	2024 年 10 月	Mike P. Williamson	41
				Mitsuhiko Ikura	40
				Vipin Agarwal	44
成瀬 恵治	岡山大学 大学院医歯薬学総合 研究科システム生理 学 教授	APPW2025	2025 年 3 月	Timothy A. Springer	50
川野 竜司	東京農工大学 工学研究院 生命機能科学部門 教授	The Nanopore Meeting 2025	2025 年 3 月	Jeff Nivala	50

申請者	所属機関・職	会議名	時期	被招聘者	助成額 (万円)
				Aleksei Aksimentiev	49
				Kozhinjampara Mahendran	48
家入 里志	鹿児島大学 大学院医歯学総合研 究科小児外科学分野 教授	第 34 回国際小児内視鏡外 科学会	2025 年 5 月	Steven Scot Rothenberg	50

小計 11 件 462 万円

【海外留学】

氏名	所属機関・職	研究テーマ	留学先機関名	時期	助成額 (万円)
清水 寛平	公益財団法人 天理よろづ相談所病院 医学研究所 脳神経外科 医師	Clarifying hemodynamic stress- induced spatiotemporal transcriptional and signaling changes in aneurysms	イエール大学	2024/7/1 ～ 2025/5/31 (11 ヶ月)	578
椿 佳那子	千葉大学 子どものこころの発達 教育研究センター 特任研究員	Ontology modeling for Alexithymia treatment	ダルハウジー大 学	2025/2/1 ～ 2025/12/31 (11 ヶ月)	575
中谷 一真	千葉大学大学院医学薬 学府千葉県がんセンタ ー研究所・分子腫瘍生 物学講座 博士課程 3 年	Evolutionary young microproteins in MYCN-amplified neuroblastoma	プリンセス・ マキシマ小児腫 瘍センター	2025/4/1 ～ 2028/3/31 (3 年)	1,829
吉本 昂希	京都大学大学院 生命科学研究科 高次生命科学専攻 博士課程 3 年	冠動脈の構造・機能と心 筋収縮効率の関連解明を 目指した生体外心臓モデ ルの構築	ハーバード大学 ジョン・A・ポ ールソン工学・ 応用科学スкуль	2025/4/1 ～2028/3/31 (3 年)	1,830

氏名	所属機関・職	研究テーマ	留学先機関名	時期	助成額 (万円)
津久井 大輔	帝京大学 医学部 内科学講座膠原病研究室 非常勤助手	Single-cell sequence、 CITE-Seq および空間ト ランスクリプトーム解析 を用いた ANCA 関連血 管炎の新規治療標的・疾 患活動性マーカーの探索	ケンブリッジ大 学	2025/2/1 ～ 2028/1/31 (3 年)	1,820
千賀 佳幸	三重大学医学部附属病 院 医学部整形外科 助教	アキレス腱損傷に対する 強靱な生体接着性ハイド ロゲルと副腎皮質ステロ イドの併用効果	ベス・イスラエ ル・ディーコネ ス・メディカル センター (ハー バード大学医学 部主要教育病 院)	2025/4/1 ～ 2027/3/31 (2 年)	1,230
福津 佳苗	北海道大学 大学院医学研究院 眼科学教室 医員	眼底写真を用いた全身性 疾患の網膜バイオマーカ ーの探索	シンガポール国 立アイセンター	2025/4/1 (1 年間)	613
小林 久人	千葉大学 大学院融合理工学府 基幹工学専攻 博士後期課程 2 年	動的シミュレーションに よる重症心身障がい児の 呼吸仕事量評価の新技术 開発	シンシナティ小 児病院	2025/4/1 (2 年間)	1,228
平原 理紗	横浜市立大学 大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学 助教	Understanding specific disease mechanisms in diverse populations through multi-omic data integration studies	ハワイ大学	2025/10/1 (2 年間)	1,220
村松光太郎	東京大学 大学院新領域創成科学 研究科 複雑理工学専攻 博士課程 1 年	異なる運動プリミティブ における脊髄神経回路の 数理モデルと電気生理学 計測	コペンハーゲン 大学	2025/9/1 (3 年間)	1,820

小計 10 件 12,743 万円

以上